

令和2年 月 日

〇〇学校保護者 各位

〇〇学校PTA会長

学校再編に係るアンケート調査について（依頼）

現在、南方地域の小中学校の保護者、学校運営協議会、行政区長会及び未就学児の保護者の代表者から構成される、「南方地域学校再編準備委員会」を設置し、当委員会の中で学校再編についての検討を行っております。

検討を行っていく中で、再編の実施等について広く保護者の意見を聞いたほうが良いとの意見がありましたので、今般、学校再編に係るアンケート調査を実施することとしました。

つきましては、調査へのご協力をお願いいたします。

記

1 回答方法

別紙「学校再編に係るアンケート調査票」に必要事項を記入してください。

2 提出方法

調査票に必要事項を記入後、別添の提出用封筒に調査票を封入し、お子様の担任教師へ提出してください。

3 提出期限

令和2年〇月〇日（ ）まで

4 その他

学校再編の概要については、裏面に記載してありますので、アンケートに回答する前に確認してください。

※ 本調査は、再編実施の是非について、皆様の意見を集約するものです。

(案)

登米市における学校再編について

(登米市教育委員会資料より抜粋)

学校再編について

多くの自治体が課題としているように、登米市においても少子化による児童生徒数の減少が課題となっています。この減少傾向は今後も続き、小中学校の学校規模が小規模化することが予想されます。その中で、登米市では目指す学校像として「児童生徒が、多様な考えに触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校」を掲げ、小学校・中学校とも、原則として各学年2クラス以上の学級編成となるような学校規模に再編していくこととしました。

1 考え方

(1) 学校の適正規模・適正配置

	適正規模	適正配置
小学校	各学年2学級以上	・ <u>適正規模に満たない場合でも、町域に1校は配置</u> ・ 通学時間はスクールバスを活用した場合概ね1時間以内
中学校	各学年2学級以上	当面は町域毎の配置とし、再編が必要な場合は、町域を越えた再編を検討

(2) 校舎などの有効活用 現有の校舎や施設を活用することで、早期の統合が見込まれることから、必要に応じた施設改修等を行った上で有効活用を図ります。

2 南方地域の状況

	児童数の推移										校舎の概要	
	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R20	建築年 (経過年数)	面積 (㎡)
南方小学校	1年生	29	23	29	17	16	18	20			昭和44年 (49年)	床 : 3,140 敷地 : 16,439
	2年生	29	30	23	29	17	16	18				
	3年生	31	25	30	23	29	17	16				
	4年生	34	31	25	30	23	29	17				
	5年生	33	31	31	25	30	23	29				
	6年生	28	32	31	31	25	30	23				
	合計	184	172	169	155	140	133	123				
西郷小学校	1年生	15	10	17	13	14	15	9			昭和48年 (45年)	床 : 3,170 敷地 : 10,845
	2年生	8	18	10	17	13	14	15				
	3年生	13	9	18	10	17	13	14				
	4年生	20	14	9	18	10	17	13				
	5年生	15	18	14	9	18	10	17				
	6年生	18	12	18	14	9	18	10				
	合計	89	81	86	81	81	87	78				
東郷小学校	1年生	27	33	24	28	31	22	27			昭和50年 (43年)	床 : 2,149 敷地 : 14,250
	2年生	26	26	33	24	28	31	22				
	3年生	26	31	26	33	24	28	31				
	4年生	27	29	31	26	33	24	28				
	5年生	21	27	29	31	26	33	24				
	6年生	29	26	27	29	31	26	33				
	合計	156	172	170	171	173	164	165				

※建築経過年数は今年度時点